

開催にあたって

日本記号学会第39回大会実行委員長：
橋本 一径（早稲田大学教授）

日本記号学会第39回大会を2019年5月25日（土）、26日（日）に早稲田大学戸山キャンパスにて開催いたします。今回のテーマは「アニメの人間——ホモ・アニマトゥス」です。

いわゆる「動画」の長い歴史の中で見たとき、「実写」映画が「アニメーション」から派生した特殊ジャンルにすぎないことは、レフ・マンヴィッチの指摘を待つまでもなく明らかでしょう。さらには「アニメーション」をあらゆるイメージの根本原理と捉えるイメージ人類学者ハンス・ベルティンクに従えば、「動画」と「静止画」の区別すら、もはや自明のものではありません。すべてのイメージが「アニメーション」であり、人間とはイメージに「魂を吹き込む（animate）」者なのだとなれば、狭義の「アニメ」とは、今日の私たちがどのような「ホモ・アニマトゥス」であるのかを、理解するための手がかりに他なりません。アニメのキャラクターたちは、現代の私たちによっていかにして「魂を吹き込まれて」いるのか——実際のアニメ制作現場に立ち返りながら、あるいは神話分析的手法を駆使しながら、3つのセッションを通して、この問いへのアプローチを試みます。

申込方法

無料・事前申し込み不要。会員以外の方も懇親会を含むすべての企画にご参加頂けます（総会を除く）。

懇親会

5月25日（土）18:00より懇親会を行ないます。

参加費：会員・一般 4000円
学生 2000円

当日、会場受付にてお支払いください。事前申込は不要です。

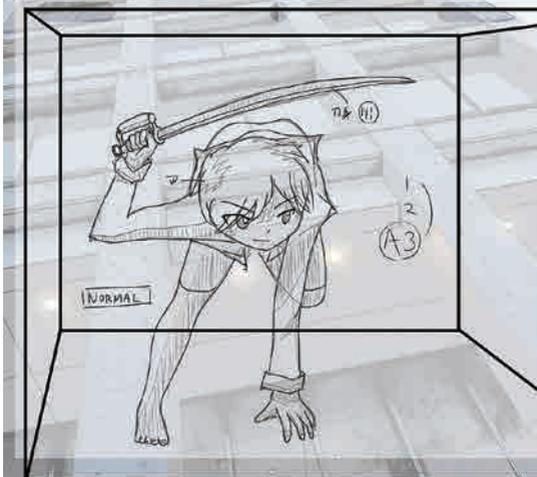
お問合せ

日本記号学会第39回大会実行委員会
〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学学術院 橋本一径研究室
E-MAIL：hashimoto.kaz@waseda.jp
学会ウェブ：https://www.jassweb.jp/

会場地図



日本記号学会第39回大会 アニメの人間 ——ホモ・アニマトゥス



早稲田大学 戸山キャンパス
2019年5月25日（土）
26日（日）

日本記号学会第39回大会

アニメの人間 ——ホモ・アニマトゥス——

2019年5月25日（土）、26日（日）
早稲田大学戸山キャンパス
（東京都新宿区戸山1-24-1）

主催：日本記号学会

後援：早稲田大学総合人文科学研究センター
「イメージ文化史」部門



1日目：5月25日（土）

会場：早稲田大学戸山キャンパス
第1会議室（33号館3階）

13：30 受付開始

14：00 - 14：30 総会

14：40 - 15：00 問題提起：
大会実行委員長 橋本一径（早稲田大学）

15：00 - 17：30 第1セッション
会場：33号館3階第1会議室

研究者ですが、アニメを浴びるよう に観ています

—アニメーション・アトラスの試み

石岡良治（早稲田大学）
小山昌宏（筑紫女学園大学）
ディスカッサント：
小池隆太（山形県立米沢女子短期大学）
司会：細馬宏通（早稲田大学）

18：00 - 20：00 懇親会

早稲田大学戸山キャンパス カフェテリア
（38号館1階）

2日目：5月26日（日）

学会員による研究発表 会場：戸山キャンパス 33号館 4階437教室・3階333教室
第2セッション：36号館3階382 [AV2] 教室 第3セッション：33号館3階第1会議室

10：00 - 12：15（分科会Bは11:45まで）

学会員による研究発表 ★

分科会A：33号館 4階437教室
分科会B：33号館 3階333教室

（12：15 - 14：00 昼食休憩）

14：00 - 15：30 第2セッション
会場：36号館3階382 [AV2] 教室

キャラクターを動かす —現代アニメにおける「作画」

林明美（アニメーター・演出）
溝口彰子（法政大学）
司会：小池隆太（山形県立米沢女子短期大学）

16：00 - 18：30 第3セッション
会場：33号館3階第1会議室

アニメーションはアニミズムか？ —アニメ的人間の未来

細馬宏通（早稲田大学）
増田展大（立命館大学）
コメンテーター：石岡良治（早稲田大学）
司会：橋本一径（早稲田大学）

18：30 閉会の辞：会長 前川修（神戸大学）

★学会員による研究発表（分科会）

■ 分科会A（33号館4階437教室）

司会：水島久光（東海大学）【1・2】
外山知徳（静岡大学名誉教授）【3・4】

【発表1】

<CreativeGenome>プロジェクトについて
佐々木淳（AOI TYO Holdings）

【発表2】

不気味の谷底——「のようなもの」の感性論
伊藤京平（立命館大学）

【発表3】

ビーア（S. Beer）のサイバネティクス理論の現
代的評価へむけて：初期思想におけるパース（C.
S. Peirce）の意義を中心に
河井延晃（実践女子大学）

【発表4】

直接知覚と間接知覚の統合としてのパースの知覚
論：批判的常識主義の観点から
佐古仁志（立教大学）

■ 分科会B（33号館3階333教室）

司会：佐藤守弘（京都精華大学）

【発表1】

文芸翻訳における間文化的移行の問題性に関して
エスカンド ジェシ（大阪大学）

【発表2】

SF 作品から窺う「慈愛的監視社会」
山口達男（明治大学）

【発表3】

モンスターに触れること——『キング・コング』
における接触のモチーフについて
大崎智史（神戸大学）